

THE KOBECOCO

AUGUST No.328

1988 8 月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和63年8月1日印刷 通巻328号 昭和63年8月1日発行
毎月1回1日発行





Christian Dior
SPORTS

CLASSICAL MODERN

恋心を綴る、 思い出グラフィティ。

風の香りに、さわやかさを感じたら、
バカンスに、さよなら。
鮮やかな色のチョークで描いた、
忘れられない思い出が、また、ひとつ……

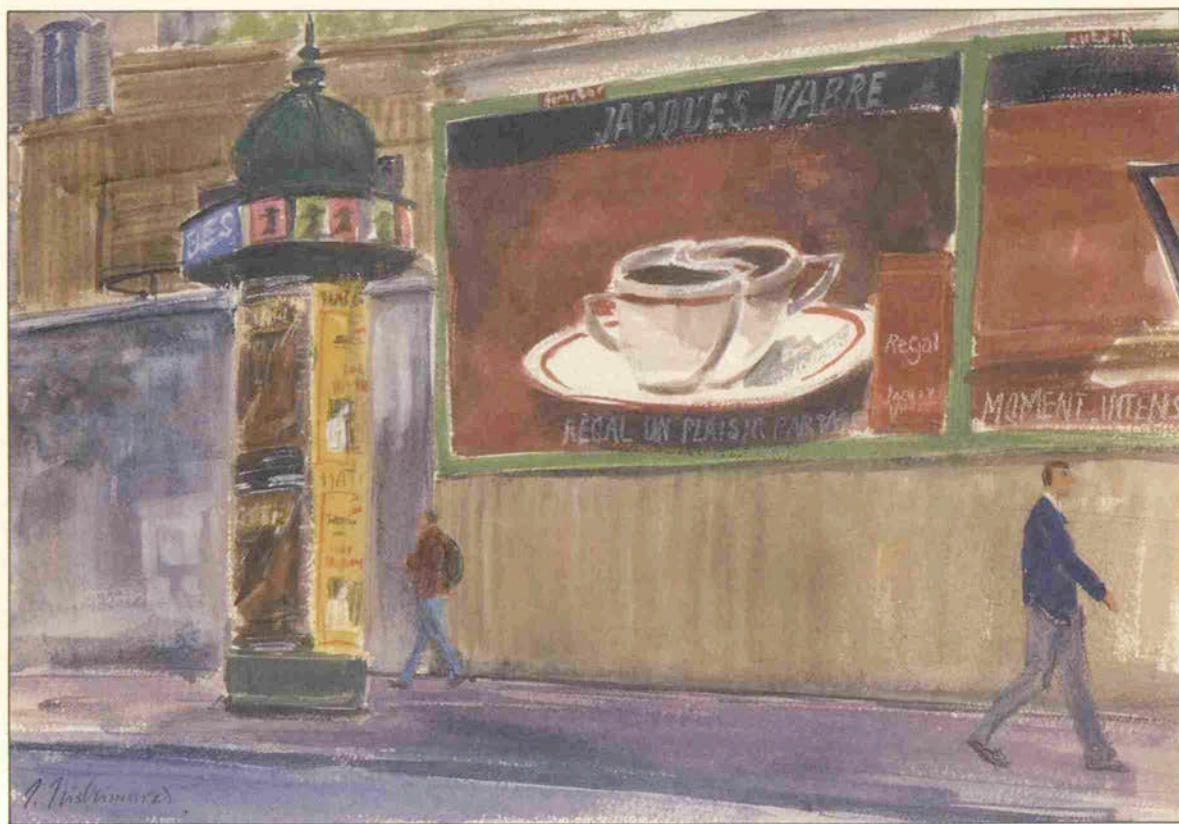


BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

神戸 本店	三宮センター街	Tel.078(332)2135-6
エルベ店	センタープラザ1F	Tel.078(332)2829
レノマ店	三宮センター街	Tel.078(332)0780・0788
シャコック店	三宮本通り	Tel.078(332)4858
さんちか店	さんちかローザアベニュー	Tel.078(321)2678
イヴ サンローラン店	そごう神戸店本館3F	Tel.078(261)2922
大阪 三番街店	阪急三番街	Tel.06(374)0137
ナビオ店	NAVIO阪急3F	Tel.06(316)1303-4
ミナミ店	虹の街	Tel.06(213)6128
近鉄店	上本町近鉄百貨店3F	Tel.06(773)1117
東京 銀座店	ニューメルサ1F	Tel.03(574)8012
銀座エルベ店	銀座メルサ1F	Tel.03(564)5625
東急店	東急百貨店1F	Tel.03(271)6778
自由ヶ丘店	ニューメルサ自由ヶ丘	Tel.03(724)8888
日比谷店	日比谷シャンテ1F	Tel.03(501)1871

Second Cover ● ヨーロッパの街角から (8)



広告塔のある通り—ラスパイユ通り (1988年) 絵／西村 功

しあわせ仕度、してますか。

Bridal fair

サマーブライダルフェア

8月7日(日)

10:30 a.m.—5:00 p.m. ● 2・3階

ブライダルショー 1:30 p.m.—2:30 p.m.

模擬披露宴 5:30 p.m.—7:00 p.m.

● 予約制でございますので、宴会予約係までお申し込みください。



同時開催▶ブライダルゼミナール
あなたのベストカラー

講師●カラーアナリスト 太田久美子

10:30 a.m.～12:00 ● 2F/紫陽花の間



ORIENTAL HOTEL

オリエンタルホテル

協賛●

(写真)大橋写真館・岡本写真館 (結納品)遠藤福寿堂 (招待状)松本欧文堂 (ハネムーン)日本公通公社神戸南京町支店 〒650 神戸市中央区京町25番地
(ビデオ撮影)日本総合テレビ・神戸映画 (衣裳)中川衣裳店・井筒屋・神戸京屋・北野坂 TEL. 078・331・8111
(引出物)高島屋・豊美堂 (家具)インテルナきたむら (装花・ブーケ)神港フラワー・マチフラワー・フローラルツカサ
(美容・着付)弥生美容院 (音楽・司会)オズプロモーション・ブリリアン

ポルトガル御影石の床、トーネットの椅子、ロイヤルドルトンの食器
早川良雄の絵に囲まれて洋菓子と珈琲を——G線神戸三宮店



六甲の風



神戸サブレ

G. SEN CONFECTION CO., LTD.

■本社工場 中央区神若通7 078-241-1101代
■布引店 国体道路生田川角 078-241-1105
■三宮店 三宮センター街 078-321-1018



Cake & Coffee
"G"線

やけどしそうな真夏の恋
そんな輝きを身につけたい

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表



真珠のように輝いて

川崎理央

〈代表パールプリンセス〉カメラ・池田年夫

「88パールプリンセス」今年で第8回目を迎えたが、全国からの応募者1663人の中から、7月2日に代表プリンセスに選ばれたのがこの人。

昭和42年3月27日、中央区北野町生まれ。父親がデンマーク人で外国商船の機関長、母親が日本人。神戸に似合うエギゾチックな顔立ち。小学校2年まで聖ミカエル国際学校で学び、2年途中からマリスタ国際学校へ進んだ。世にいうバイリンガルである。卒業後英会話学校の講師、ファッションモデル、通訳などを経て、現在はミニFM局のDJ、ブライベートな英会話教師などをしている。仕事が多彩なら趣味も多彩で、音楽、読書、料理、編物、ジグソーパズル、ジャズダンスなど。また8年間研修しているいけばな（小原流）は准教授の腕前。

今回は冗談半分で応募したそうで、会場で名前を呼ばれた時も誰のことかわからずぼんやりとしていたとのこと。しかし今は「真珠をもっとカジュアルに使ってもらえるようにがんばりたいですね」と、年間10回行われる国内キャンペーンに向けて意欲満々。また来年2月にはミュンヘンで開かれるジュエリーショーに参加する。

将来は、との質問に「結婚した後、自宅で外国の方にいけばなを教えるのが夢なんです。」とのこと。さすがバイリンガル。中央区生田町在住。

〈北野町にて〉



□第13回

神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。これまで左記の通りに各賞の受賞作が決定しておりますが、第11回の募集より、さらに質の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。

- ・第一回神戸文学賞「島之内ブルース」(田藤新二 尼崎市) 同女流文学賞「ベットの背風」(小倉弘子 大阪府)
- ・第二回神戸文学賞「絶頂」(奥野忠昭 大阪府柏原市) 「生活」(吉峰正人 神戸市)
- ・第三回神戸文学賞「自田と正義の水たまり」(斎電 奈良市) 同女流文学賞「夢の清風」(大原由紀子 高知市)
- ・第四回神戸文学賞「溶ける闇」(高木敏克 神戸市) 同女流文学賞「影と棲む」(田口佳子 伊丹市)
- ・第五回神戸文学賞「該当作なし」 同女流文学賞「哀愁」(久保田匡子 大阪府)
- ・第六回神戸文学賞「ガチャマン」(南禅満作 神戸市) 同女流文学賞「該当作なし」
- ・第七回神戸文学賞「凶鳥の群」(徳留節 京都市) 同女流文学賞「花いちもんめ」(新光江 鳥取市)
- ・第八回神戸文学賞「昔の眼」(服部洋介 神戸市) 同女流文学賞「薔薇の聲」(菊池佐紀 愛媛県)
- ・第九回神戸文学賞「ストラルブラグ」(桑井朋子 高石市) 「いちじく」(宇山翠 北九州市)
- ・この回の神戸文学賞は該当作なしで、神戸女流文学賞は「該当作なし」
- ・第十回神戸文学賞「おどろく海賊」(塚田照夫 長崎県) 「オレンジ色の闇」(舟木かな子 神戸市)
- ・第十一回神戸文学賞「眠父記」(田能千世子 吹田市) (この回より神戸文学賞と同女流文学賞を一本化)
- ・第十二回神戸文学賞「夢食い魚のブルーグッドバイ」(釜谷かおる 高砂市)

ここに第13回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項▽

- 一、応募作品は小説とし、応募資格は問いません。ただし応募作品数は一篇に限ります。
- 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限りません。
- 一、原稿枚数は四百字詰70枚。
- 一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概をつけて下さい。
- 一、締切りは八月三十一日(当日消印有効)
- △選考委員▽杜山 悠・武田 芳一・鄭 承博
- 一、受賞作品発表は本誌昭和六十四年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。
- 一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。
- 一、受賞作品の著作権は本誌に属します。
- 一、受賞作品には副賞として賞金三拾万円が贈られます。
- 一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一三の一 大神ビル九階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
- 電話〇七八—三三一—二二四六

主催／月刊神戸っ子

●神戸っ子'88

十四歳の五輪日本代表

森下恵子

（ソウル五輪日本代表 カメラ：池田年夫）

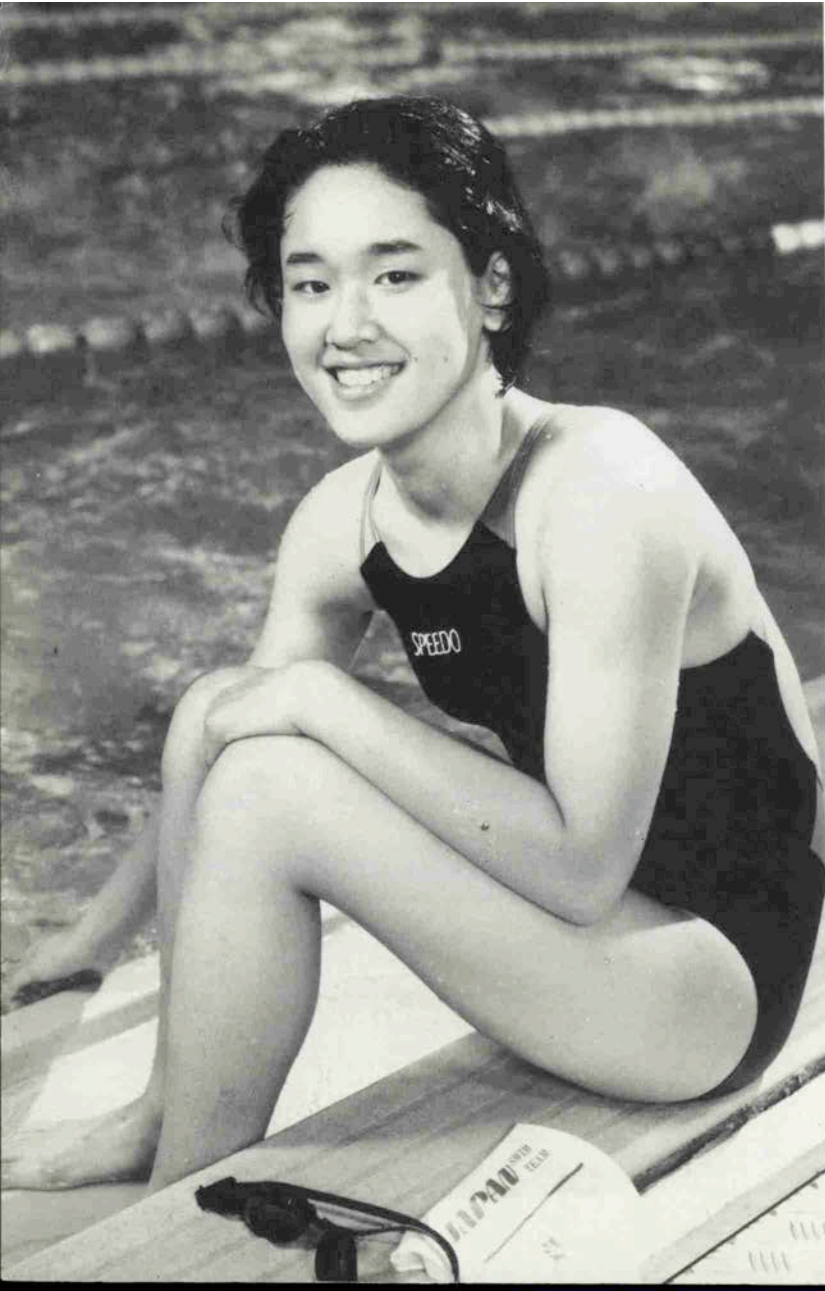
さわやかな笑顔、屈託のない表情、そんな言葉がびつたりと当てはまる神戸大付属住吉中二年生の彼女が、背泳ぎでソウル五輪日本代表となった森下恵子選手である。東灘区に在住の彼女は小学校一年生の時から水泳を始め、四年生から西宮イトマンS・Sで本格的に水泳に取り組みだしたという。水泳ニッポンの再建を担う女子選手は十一人で、そのうち中学生は三人。選手の平均年齢が下がっている中で伸び盛りの中学生から今回、三人も選出されたことは日本の水泳界にとって、実に頼もしい限りである。

森下選手が競技会へ初めて参加した時の動機が実にユニークで、「参加賞の景品が欲しかったから」だそう。ソウルに向けて周りからのプレッシャーというものは今ではそんなに感じてなくて、有名な選手にたくさん会う事が出来る、とか、ソウルの街を観る事が出来る、といった事に素直な喜びを表わしていた。やはり新人類選出は我々が考えるほど、緊張感を感じるよりも置かれた立場の中で愉しみを找出するのが上手い。

まだまだ伸び盛りにある森下選手。この若干14歳の彼女の尊敬する選手は、ジャンルは違うのだが、カルガリー、ソウル両大会出場に決定した橋本聖子選手、近くにいるだけで存在感が伝わってくるというのが理由だそう。

ソウルをひとつのステップにますます大きく成長していく彼女が愉しみである。

（西宮イトマン スイミングスクールにて）





ある集い□「狂言」って何から10年

「狂言」って何から10年

原 康夫

ライオンズクラブ国
際協会3331A地区1区
ライオンズ情報委員

10年前、青少年や海外からの留学生、そして市民のみなさんに古典芸能である「狂言」を楽しんでもらおうと奉仕活動としてはじめてのが神戸生田ライオンズクラブと、神戸楠ライオンズクラブで、それに神戸市民文化振興財団神戸文化ホールとの共催により好評を得てまいりましたが、その仕掛人が「能」に造詣深い久保福造さんです。能は知っていても「狂言」は知らない、判らないという人達が多く、小学生の教材になっても狂言の実演を観たこともない若い先生達は困ったことだったと思います。特に東、西の狂言界宗家による演技披露でなければ目的を誤ることもあって大変、交渉に骨をおって下さいました。すでに先年、逝ってしまった大蔵流の人間国宝、茂山千作先生は老骨をおしてこの奉仕にご参加下さって遂に慣例のない東西合同狂言会が誕生したのです。東の和泉流、野村万之丞、万作ご兄弟も10年間休むことなくご出演をいただき、今回は第一部小学生二千名を招待し、「狂言」のもつ時代背景が鎌倉期ながら現代に通じるすばらしい抽象芸術を「笑い」の中から人間模様として観賞してもらえんと思っ

ています。そんなライオンズクラブの文化奉仕をする裏方ばかりのグループです。

連絡先

神戸市中央区中山手通2丁目11
二ユイクタビル3F(301) 01008
(写真は神戸文化ホールにて)



ある集い□古典を楽しむ会

古典を楽しむつつ 生涯の糧に

小島 正子（古典を楽しむ会主宰）

戦後の三十年、東京で高校教師として過ごした私には、十代の頃からこよなく愛して来た古典文学が受験用の教材として切り刻まれている状態に堪えられず、おとなの同好の人たちに働きかけて、より全人的に古典を味わえる人をふやそうとして作ったのがこの会です。会の名を「読む会」や「学ぶ会」でなく、「楽しむ会」としたのも、単に「読む」「学ぶ」よりは一段と深い「楽しむ」の境地に到達して頂きたい願いからです。

原文主義と完読主義をとっていますので、「源氏物語」のような長編は読了に長い年月を要しますが、「生涯学習」が会のモットーです。

一クラス十人程度の小人数を旨としますので、サロンふうな雰囲気、質問に、感想に、女性論のトークにと、思いきりおしやりを楽しんで頂く場でもあります。

最初のクラスは十一年前東京に生れたのですが、私が郷里の神戸に帰って以来、当地にも同様のクラスが幾つか生まれ、今では神戸のほうが主流になっています。

年に一、二回古典の舞台を訪れて現地に立つ体験をする「移動教室」を行っていますが、今日は「源氏物語」須磨・明石の跡を歩く。というテーマで、光源氏のモデル在原行平の伝承のある一絃琴を聞かせて頂くため、ここ須磨寺を訪れております。メンバーは女性ばかりのように見えますが、他に少数ながら男子会員もおられます。会としてはもっと男性メンバーのふえることを望んでおります。

連絡先

神戸市東灘区田中町2-5-15

「古典を楽しむ会」078(41)5012

（写真は須磨寺にて）

表紙の人／中山竹通
ソウル五輪代表
マラソンランナー

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 8月号

関西の全てがわかる
ニュータイプの情報百科



好評発売中
¥6,000

特集

いま注目のアジアパワー

●ソウルオリンピック'88記念 韓国特集

船と車で行く
韓国縦断
の旅



『オリンピック
街道を往く』

「日韓美術交流展(神戸二紀会)」

「がんばれ！ニッポン」ほか

●建国23周年記念 シンガポールの現状と展望



リー・クンチョイ
駐日全権大使に聞く

●座談会

「関西シンガポール協会が中心に
なってシンガポールサロンを」



ブライダル特集

特別読物「衣裳にみるアジアの結婚」

特集／地域文化フォーラム

国際的に広がる 地域文化の輪

隣りの地域文化にも着目することが大切



●ビッグインタビュー



山田 稔

大阪の未来をリードする
ダイキン工業社長 関西経済連合会副会長

- [今月の視点] 田中国夫
- [三林京子のいきいきTALK]
お客様 上山善紀 近畿日本鉄道会長
- [うまいもん関西 美味発見]
- [程さんのうんちく料理塾]
なす 文・程 一彦
- [上方味覚紀行]
「濱むら」 楠本憲吉
- [孟さんの新風俗記]
縁結びの地主神社の巻 高橋 孟
- [名医に聞く]
白内症・緑内障などの手術
永田 誠先生
- [ワインの話⑧] 松山恒夫
- [関西百撰会ギャラリー] ほか



ハーバーランド完成模型を囲んで



笹山助役の挨拶



鉄入れ式の模様

☆ハーバーランド地下街 建設工事起工式

●コウベスナップ

☆30周年を迎えた 神戸JC

ハーバーランド地区と周辺市街地を結ぶハーバーランド地下街建設工事起工式が6月23日、JR神戸駅南駅前広場において開かれた。当日は約200名が参加、事業費は約115億円。65年度完成予定で既存のサンこうべ地下街とJR神戸駅とが連絡し、店舗・地下広場・ギャラリー・ショーケース等ウォーターフロントのモデルとして今後期待される。

7月9日、神戸ポートピアホテルにて、社団法人神戸青年会議所（西村 理理事長）創立30周年記念式典が、千名の出席をみて盛大に開かれた。ハイライトは、中華民国高雄市国際青年商会（高雄青年会議所）との姉妹青年会議所盟約締結調印式。また西村理事長から、「ブレーン会議21」の設置と、5年後の神戸への国際青年会議（JC I）の世界大会誘致が宣言された。



挨拶をする西村神戸JC理事長



高雄JCとの盟約締結



当日は多数の来賓も出席

新しきクリエイター

美の小箱

うぶかた たかはる

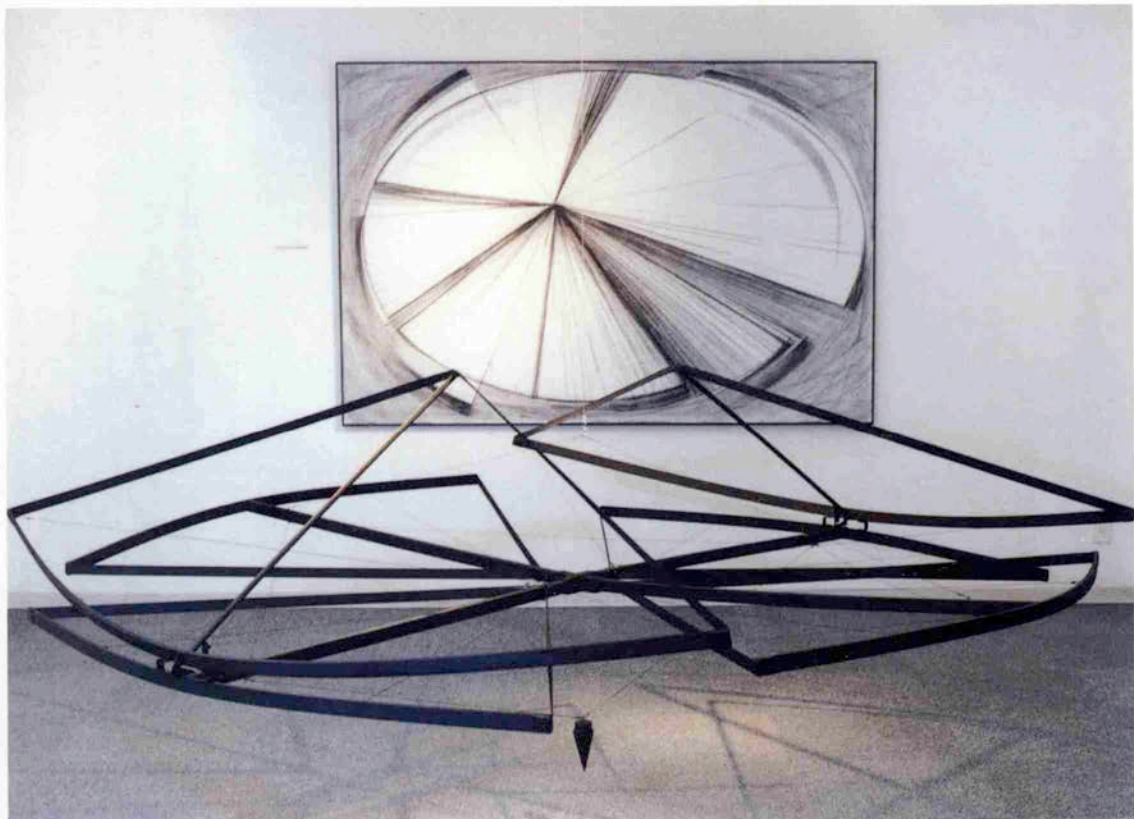
生形貴春

文・乾 由明〈美術評論家〉

生形貴春の仕事は、この数年間に着実な進展をみせている。とくに兵庫県立近代美術館の「アートナウ」展に出品した一九八五年頃から、制作意図の明確な独自の作風が創り出されるようになったと思う。

最近における生形の作品は、トガの木、ステンレス・ワイヤ、スピンドル・テーブルなどを組み合わせた、きわめて軽快な立体である。しかし異質な素材によるたんなる構成的な造形ではなく、そこでは細長い木の板を撓めたときに生じる、もとへ戻ろうとするつよい張力が基本となっている。そういう張力をしめすフォルムがいくつかあつまって、均衡のあるひとつの全体を創るのである。したがって生形の作品においては、さまざまな素材が引っぱり合う関係から生じる空間が重要となる。つまりそれは、眼に見えない「空間」を、緊張した力の充満する場として、眼に見えるようににした仕事ということができらるだろう。

このようなところから近作では、作品それ自体よりも、作品の置かれる空間や環境が大きな意味をもってくる。最近の生形が、画廊のスペース全体を作品化するインスタレーションに取り組んでいるのは、当然といつてよい。だがその成果は、まだかならずしも十分あがったとはいえないようである。個々の作品のフォルムに優れた造形の才能を発揮したこの作家が、さらにスケールの大きい豊かな空間の創造へと飛躍することを、期待してやまない。



張力体 1988年 生形 貴春

- 1948年 大阪市に生まれる
- 1971年 花園大学文学部日本史学科卒業
- 第10回現代日本美術展 (東京都美術館)
- 1981年 第15回現代日本美術展 ()
- 1982年 第14回日本国際美術展 ()
- 1983年 第16回現代日本美術展 ()
- 1984年 アート・ナウ'84 (兵庫県立近代美術館)
- 1985年 アート・ナウ'85 ()
- 1986年 個展 (信濃橋画廊)
- 1987年 個展 ()
- 1988年 現代作家立体小品展 (ワコール銀座アートのスペース・G・マロニエ)
- 個展 (ガレリア・ノイ、ABCギャラリー)

